

Vol.45 サークル・サークル

市内で活動、活躍する
団体・サークル・チーム
などを紹介

八幡平市猟友会

メンバー47人(8月7日現在)
会長：瀬川 健則＝間羽松＝

◎結成何年目？

西根・松尾・安代の旧町村単位で活動していた猟友会が平成25年に合併し、今年で結成8年目を迎えました。

◎活動の内容は？

野生鳥獣の保護、鳥獣被害の防止、適正な狩猟を目的に、市からの要請で年間を通して有害鳥獣の捕獲やパトロールをしているほか、仲間と趣味の狩猟をしています。活動は、人と野生動物の共存のため、鳥獣保護管理法に基づいて行っています。



トマトを荒らすハクビシンを捕獲

◎活動の魅力は？

狩猟で得た野生鳥獣を食肉とするジビエも魅力の一つですが、有



害鳥獣捕獲で農作物被害を最小限に抑えたり、人的被害を未然に防いだりと地域の皆さんの生活を陰から支援できることも魅力です。

また主に自然の中で活動することが多いため、四季折々の自然を感じながら、足腰が鍛えられ健康維持につながっています。

◎今後の目標・展開は？

会員を増やしたいです。近頃、新規加入者は増えてきていますが、結成時の57人には及びません。最近ではクマ、イノシシ、シカ、ハクビシンの目撃情報や農作物被害が増えていて、今後はさらに増えていくことが予想されます。特にイノシシは増頭傾向にあり、広範囲で被害が発生しています。行政と野生鳥獣の目撃情報の共有を図り、初動を早め鳥獣被害を減らす活動を続けるためにも会員が必要です。興味のある人の活動参加を待っています。

■問い合わせ先 事務局長 遠藤久夫(090-8785-5557)

「フェロ」を思いのままに動かし、最後にプロの開発者も使用しているプログラミング言語「スウィフ



親子で一緒にプログラミングを考えます



ブロックを組み合わせる簡単な方法で仕組みを学びます

ロボット「スウィフ」を思いのままに動かし、最後にプロの開発者も使用しているプログラミング言語「スウィフト」を考えた。対象にしたのは初めてで、親子の力を合わせて挑戦してもらおうと、いつもより少し難しい問題を出しました。参加者は、アイパッドのアプリを使って自分でプログラムを考え、球体型の

「インターネットとタブレットさえあれば何でもできてしまうこの時代、プログラミングを始めとするICT教育への関心がとても高くなっています。たくさんの方に、どんどん参加してもらいたいので、これからも気軽に楽しくプログラミングを学べるイベントを企画していきます。



今月の担当
吉田 力 さん

親子向けプログラミング教室を、7月12日に松尾コミュニティセンターで開きました。今までに何度か子ども向けのプログラミング教室を開いたことはありましたが、親子を

「ト」を使って、ドローンを動かすことにも成功。子どもたち以上に親も熱中していて、プログラミングは世代に関係なく楽しめることが分かってうれしく感じました。

地域おこし協力隊 だより Vol.76